

科目名 Subject	フェイシャルエステⅥ Facial EstheticsⅥ		教員名	エステチーム	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	2単位
必修／選択	必修	授業形態	実習	時間	60時間
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
	◎	○	○	◎	○
科目の概要	フェイシャルエステⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴで学んだことを基に、試験対応したメイク、ネイルを習得し、トータルエステティック技術を向上させ、各モデルの要望にあったフェイシャルメニューの構築や、その人にあったメイクやネイルを実践することができる。				
授業の目標	今まで知識、技術として定着させたものを個別に応用することができ、かつ、試験本番時に時間内で的確な判断をすることが出来るようになる。高齢者や肌質の異なる方への対応を正しく行うことができる。				
時間外学習 (予習・復習)	授業で学んだことを復習し、次の授業の内容を実技教科書で予習するよう心掛けること。授業で学んだことをウィッグやモデルを使いながら復習する。なお、各回の復習には概ね60分～90分程度行い、次の授業の際に技術が戻らないように定着させておくこと。				
教科書・教材	教科書	日本エステティック協会テキスト			
	教材	フェイシャル用教材、講師作成資料			
	使用設備・備品	フェイシャル室			
	参考文献				
評価方法	平常点20%（小テスト、身だしなみチェック、提出物等含む） 試験80%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	授業中の居眠りや私語など他の学生に迷惑がかかる様な行為が目立つ場合は、欠席扱い又は実習室を退出させる場合もある。 この科目はフェイシャルエステⅣ・Ⅴ、ボディエステⅣの単位を取得しなければ履修できません。				
本科目履修と関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	フェイシャルカウンセリング 機器選択を含んだカウンセリング シート作成を学ぶ	試験に対応したカウンセリング方法、カルテ記入の方法を習得し実践できる。	カウンセリングをスムーズに出来るよう機器の注意点、禁忌事項をノートにまとめておく
第2回	フェイシャルカウンセリング 機器選択を含んだカウンセリング シート作成を学ぶ	試験に対応したカウンセリング方法、カルテ記入の方法を習得し実践できる。	カウンセリングをスムーズに出来るよう機器の注意点、禁忌事項をノートにまとめておく
第3回	フェイシャルカウンセリング 機器（エレクトロ）使用方法を学ぶ	エレクトロ機器を使った効果と手順を理解し、正確に行うことができる。	エレクトロの効果・注意点・禁忌事項を予習しノートにまとめておく
第4回	フェイシャルカウンセリング 機器（エレクトロ）使用方法を学ぶ	エレクトロ機器を使った効果と手順を理解し、正確に行うことができる。	エレクトロの効果・注意点・禁忌事項の不明な点を授業で確認できる準備を行う。
第5回	フェイシャルカウンセリング 機器（ディープ）選択方法を学ぶ	ディープクレンジング効果と手順を理解し、正確に行うことができる。	ディープクレンジングの種類・効果・注意点・禁忌事項の不明な点を授業で確認できる準備を行う。
第6回	フェイシャルカウンセリング 機器（ディープ）選択方法を学ぶ	ディープクレンジング効果と手順を理解し、正確に行うことができる。	できなかった部分について復習する。
第7回	フェイシャルカウンセリング 機器（導入）使用方法を学ぶ	導入化粧品と機器の効果、手順を理解し、正確に行うことができる。	導入の効果・注意点・禁忌事項を予習しノートにまとめておく
第8回	フェイシャルカウンセリング 機器（導入）使用方法を学ぶ	導入化粧品と機器の効果、手順を理解し、正確に行うことができる。	導入の効果・注意点・禁忌事項を把握し不明な点を授業で確認できる準備を行う。
第9回	フェイシャルカウンセリング 機器（パター）使用方法を学ぶ	パター機器を使った効果と手順を理解し、正確に行うことができる。	パターの効果・注意点・禁忌事項を予習しノートにまとめておく
第10回	フェイシャルカウンセリング 機器（パター）使用方法を学ぶ	パター機器を使った効果と手順を理解し、正確に行うことができる。	パターの効果・注意点・禁忌事項を把握し正しく施術できるようにしておく
第11回	フェイシャルカウンセリング により正しい機器選択からフェイシャルマッサージを学ぶ	肌質を理解しメニューの決定選択を正確に行う。6手技を滑らかに行うことができる。	皮膚科学の肌別対応を復習しメニュー組み立てを正しく選択し、時間内で施術できるように練習する。
第12回	フェイシャルカウンセリング により正しい機器選択からフェイシャルマッサージを学ぶ	肌質を理解しメニューの決定選択を正確に行う。6手技を滑らかに行うことができる。	皮膚科学の肌別対応を復習しメニュー組み立てを正しく選択し、時間内で施術できるように練習する。
第13回	正しい機器選択からモデルにあったフェイシャルマッサージの手技を学ぶ	肌質を理解しメニューの決定選択を迅速に行う。6手技を滑らかに行うことができる。	皮膚科学の肌別対応を復習しメニュー組み立てを正しく選択し、時間内で施術できるように練習する。
第14回	正しい機器選択からモデルにあったフェイシャルマッサージの手技を学ぶ	肌質を理解しメニューの決定選択を迅速に行う。6手技を滑らかに行うことができる。	皮膚科学の肌別対応を復習しメニュー組み立てを正しく選択し、時間内で施術できるように練習する。
第15回	口頭試問対策について学ぶ	口頭試問で出題されるそれぞれの効果、禁忌、注意点を正確に述べることができる。	化粧品、機器の効果、禁忌、注意点を正確に把握しノートにまとめる。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	メイク・ネイルの基本的な理論と実践を学ぶ。	試験に対応したネイル・メイクをシーン別に行うことができるようになる。	使用する基材、施術の注意点についてノートにまとめておく
第17回	フェイシャルの仕上げからメイク・ネイルへの準備方法を学ぶ	卒業試験の流れを理解し、一つ一つ丁寧に正確に行うことができるようになる。	使用する基材、機器、施術の注意点について理解し時間内に施術できるよう反復練習を行う。
第18回	フェイシャルの仕上げからメイク・ネイルへの移行方法を学ぶ	卒業試験の流れを理解し、一つ一つ丁寧に正確に行うことができるようになる。	使用する基材、機器、施術の注意点について理解し時間内に施術できるよう反復練習を行う。
第19回	フェイシャルの仕上げからメイク・ネイルへの移行方法を学ぶ	卒業試験の流れを理解し、一つ一つ丁寧に正確に行うことができるようになる。	使用する基材、機器、施術の注意点について理解し時間内に施術できるよう反復練習を行う。
第20回	フェイシャルの仕上げからメイク・ネイルを時間内に仕上げる方法を学ぶ	卒業試験の流れでカウンセリングから実技まで正確に行うことができるようになる。	不得意な個所を不明な点を授業で確認できる準備を行う。
第21回	フェイシャル実技試験模擬によって口頭試験対応を学ぶ	卒業試験の流れでカウンセリングから実技まで正確に行うことができるようになる。	不得意な個所を不明な点を授業で確認できる準備を行う。
第22回	フェイシャル実技試験模擬によって口頭試験対応を学ぶ	卒業試験の流れでカウンセリングから実技まで時間内に正確に行うことができるようになる。	不得意な個所を不明な点を授業で確認できる準備を行う。
第23回	フェイシャル実技試験模擬によって口頭試験、モデル別の対応を学ぶ	卒業試験の流れでカウンセリングから実技まで時間内に正確に行うことができるようになる。	不得意な個所を不明な点を授業で確認できる準備を行う。
第24回	技術のまとめ①モデルの肌質にあったメニュー構成を学ぶ	カウンセリングから実技まで正確に行うことができるようになる。	モデルにあったメニューの構築のために注意点・禁忌事項・アフターケアなどをノートにまとめておく
第25回	技術のまとめ①モデルの肌質にあったメニュー構成を学ぶ	カウンセリングから実技まで正確に行うことができるようになる。	モデルにあったメニューの構築のために注意点・禁忌事項・アフターケアなど授業でできなかったところを復習する。
第26回	技術のまとめ②モデルの肌質にあったメニュー構成、化粧品選択を学ぶ	カウンセリングから実技まで時間内に正確かつ的確にメニュー選択ができるようになる。	モデルにあったメニューの構築のために注意点・禁忌事項・アフターケアなど授業でできなかったところを復習する。
第27回	技術のまとめ②モデルの肌質にあったメニュー構成、化粧品選択を学ぶ	カウンセリングから実技まで時間内に正確かつ的確にメニュー選択ができるようになる。	モデルにあったメニューの構築のために注意点・禁忌事項・アフターケアなど授業でできなかったところを復習する。
第28回	技術のまとめ③モデルの肌質にあったメニュー構成、化粧品選択、アフターアドバイスを学ぶ	カウンセリングから実技までアフターケアも含め的確に行うことができるようになる。	モデルにあったメニューの構築のために注意点・禁忌事項・アフターケアなど授業でできなかったところを復習する。
第29回	技術のまとめ③モデルの肌質にあったメニュー構成、化粧品選択、アフターアドバイスを学ぶ	カウンセリングから実技までアフターケアも含め的確に行うことができるようになる。	モデルにあったメニューの構築のために注意点・禁忌事項・アフターケアなど授業でできなかったところを復習する。
第30回	授業のまとめ	試験に向けて改善点を理解でき基準点を上回る施術を行うことができる。	履修した内容を正しく理解し、時間内に適切に施術できるよう反復練習する。